

マメトラ.ハンマーローター

MH-750 V 草刈  
CV ゴボウ  
DV さつま  
EV 用

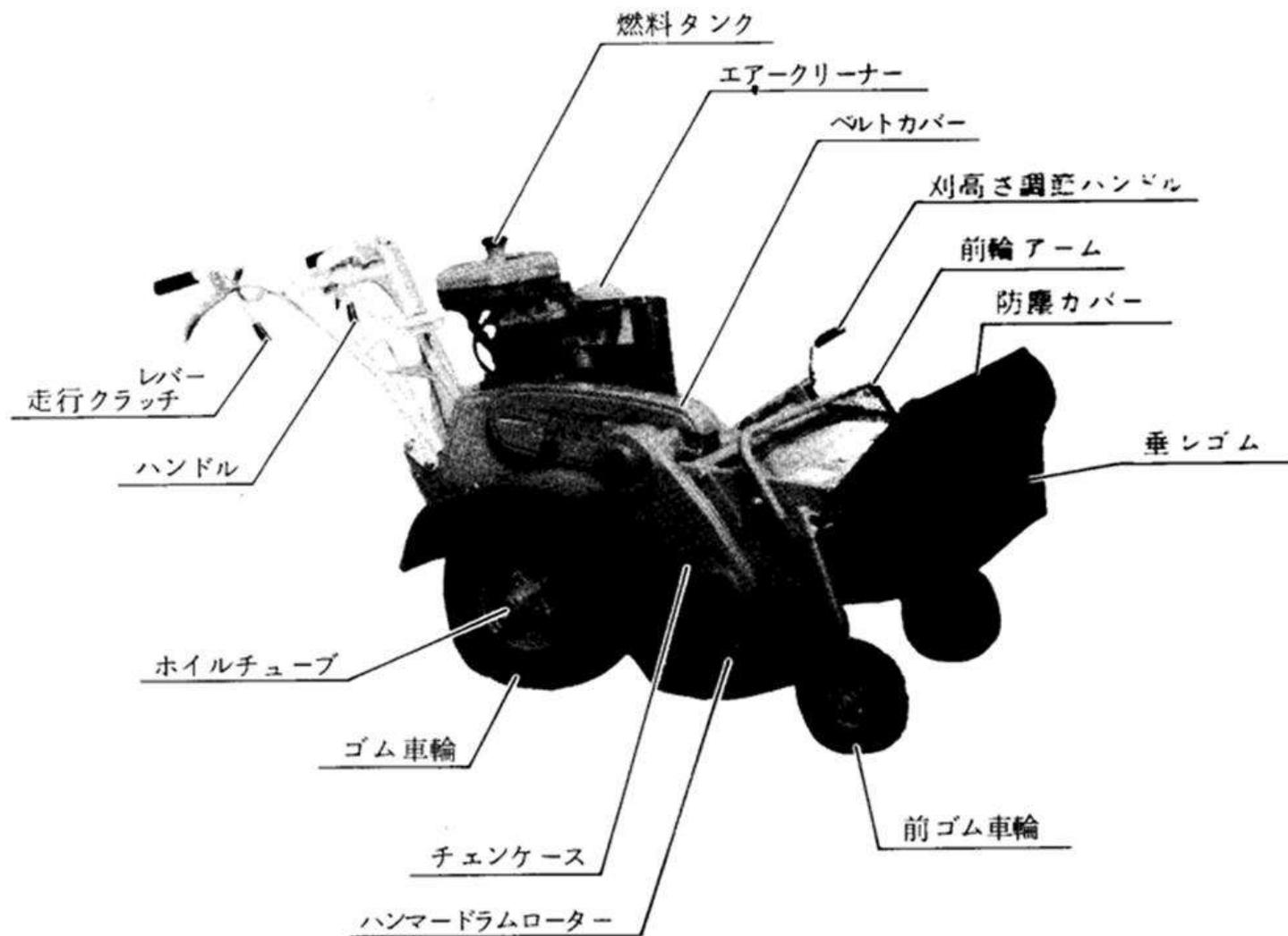
使用説明書

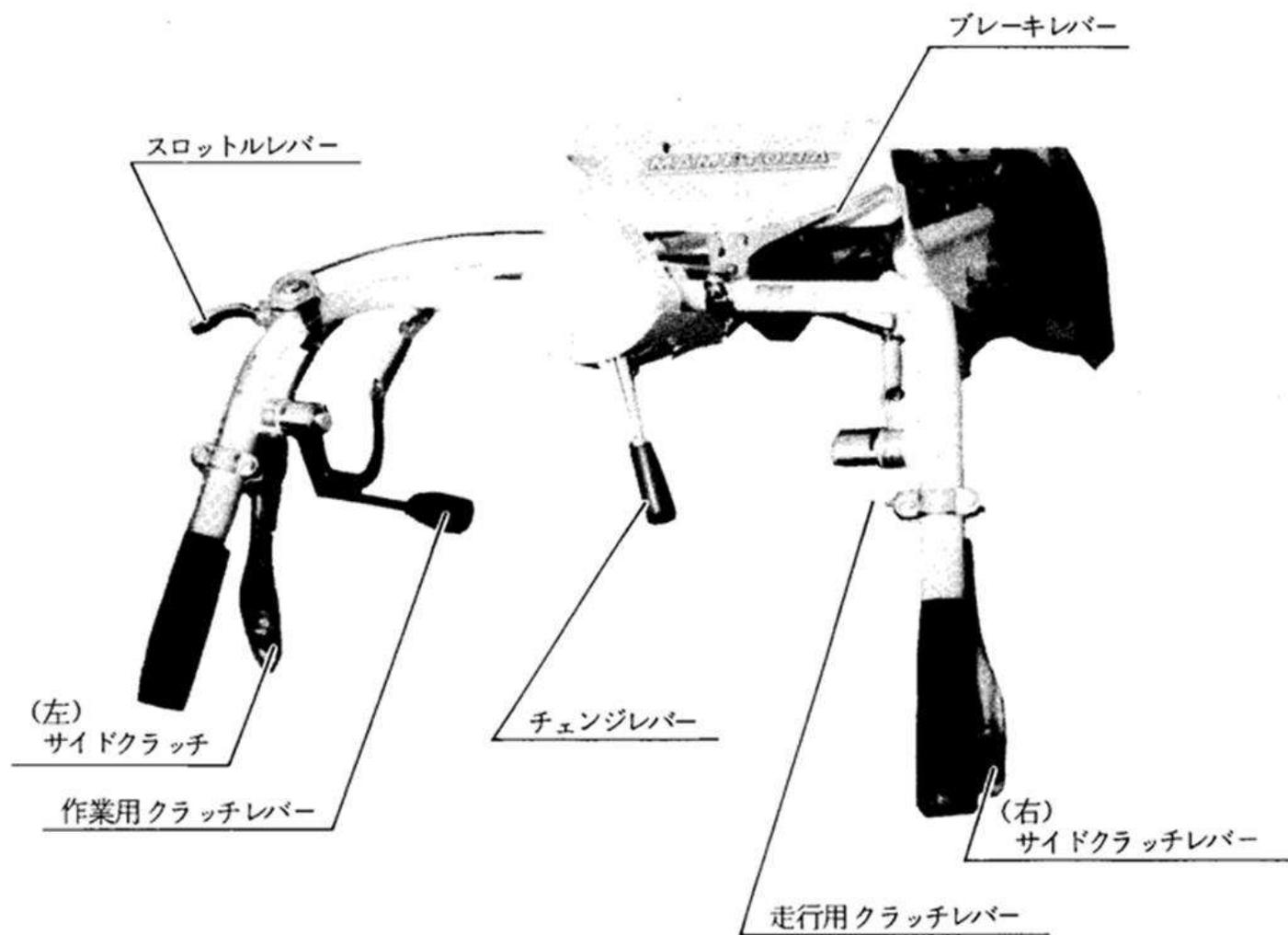
マメトラ農機株式会社

# 目 次

1. 各部の名称 .....	2
2. 仕 様 .....	4
3. 各部の給油 .....	5
(1) ミッションケース .....	5
(2) 定期的な給油 .....	6
4. 各部の調節 .....	7
4-1) ベルトの調節 .....	7
4-2) 刈高さ調節 .....	8
4-3) 車輪巾と前輪フォーク .....	9
4-4) 前輪の調節と注油について .....	9
4-5) ドラムと刃の交換要領 .....	9
4-6) つる切刃の使用 .....	10
5. 作業上の注意 .....	11
6. 安全作業のための心得 .....	12

# 1. 各部の名称





## 2. 仕 様

### 本機共通仕様

型 式 名		マモトラMH-750V	エンジン型式	G910L・GM300
寸 法	全 長 mm	2,055	型 式	空冷4サイクル ㊄HVガソリン
	全 巾 mm	917	連続定格出力	7.5 <sup>PS</sup> / 1800 rpm
	全 高 mm	974	最 大 出 力	10.0 <sup>PS</sup> / 2000 rpm
重量(本機のみ) kg		175.5	排 気 量	296 cc
速 度	低 km/h	1.7	始 動 方 式	リコイル式(セルスタータ式)
	高 km/h	2.50	潤 滑 油 量	1.2 l
	後 km/h	1.97	燃料タンク容量	6.0 l
刈 巾 mm	690	重 量	26.0 kg	
刈 高 さ mm	0 ~ 100			

機種別仕様 傾斜地作業にはダブルタイヤ(オプション)をご使用ください。

型 式 名	MH-750V	MH-750CV	MH-750DV MH-750EV
タイヤサイズ	400-8	19-10×8	6-12 (高畦用、400-19)
用 途	一般雑草粉碎	ゴボウ茎葉処理	さつまつる刈取用
能 率	10a / 30~60分	10a / 30分	10a / 30~40分

### 3. 各部の給油

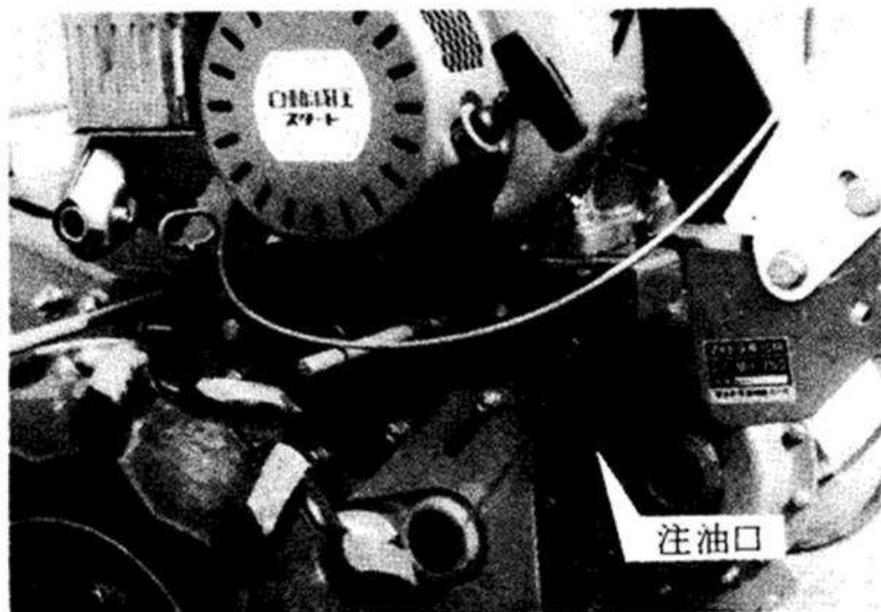
ご使用前に各部の給油、点検をして下さい。エンジンについては、別冊エンジン取扱い説明書をご覧下さい。

#### (1) ミッションケース

ミッションケース並にロータリー側チェーンケース内は工場出荷時に入れてありますが、念のためキャップをゆるめて確認して下さい。

ミッションケース内 ギャーオイル 90# 2.3 ℓ

チェーンケース内 ギャーオイル 90# 1.6 ℓ



(年1回又は100時間使用後はオイルの交換をして下さい。)

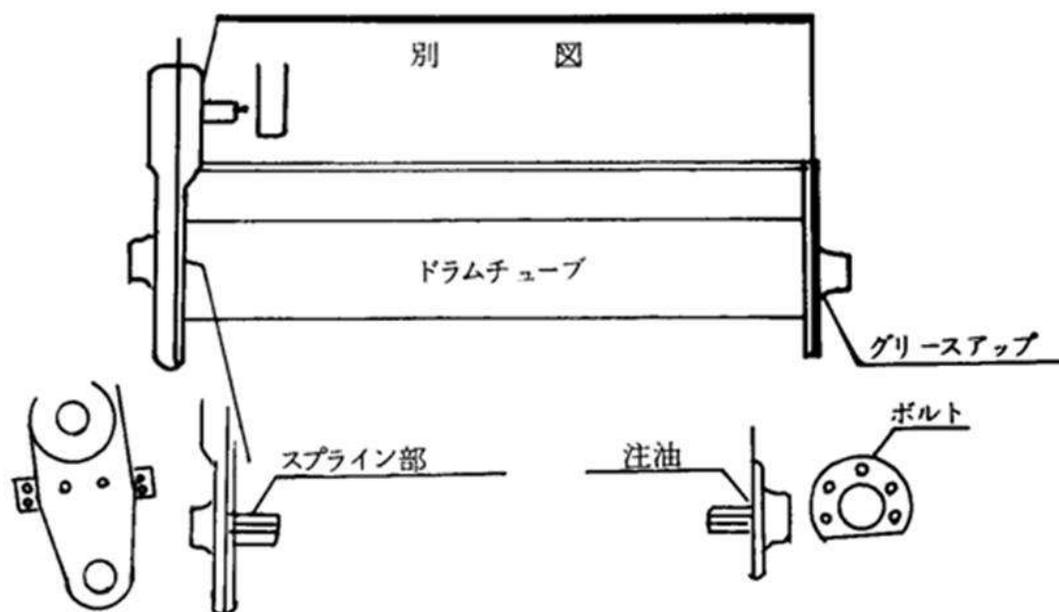
## (2) 定期的な給油

- ハンマーローターベアリングケース・グリースアップ (別図)
- ハンマーローターを外してスプライン部に注油 (別図)
- タイヤチューブを外して車軸部に注油
- 前輪ベアリング部バネピンを抜いてグリースを給油

年 2 回  
年 1 回  
年 1 回  
年 2 回

- テンション、サイドクラッチワイヤーに注油
  - クラッチレバーピン・軸部に注油
  - 主クラッチ、ロータリーテンションアーム軸注油
- (注油オイルはエンジンの排油でも差しつかえありません。)

使用前  
"  
"

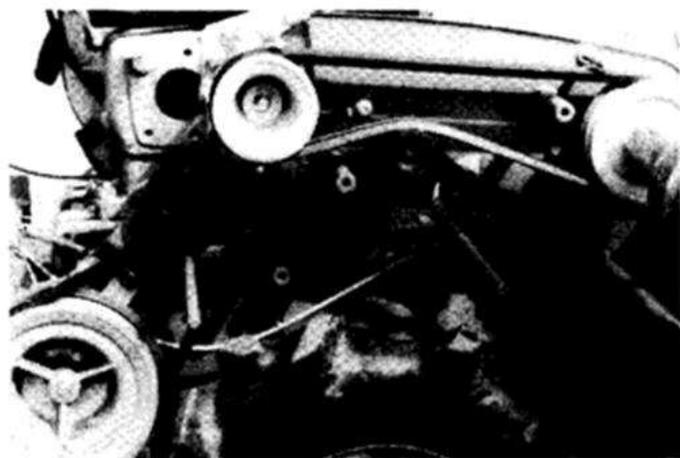


## 4. 各部の調節

### 4-1) ベルトの調節

長時間使用しますと、ベルトが伸びてスリップする事があります。スリップのまま使用しますとベルトから発熱して短時間で切損しますので、スリップを感じたら、必ずアウターワイヤー調節又はフレームの所で調節して下さい。ベルトの張り具合は各クラッチレバーを入れた状態で、図の如くベルトが張られる様にして下さい。

注：張り過ぎるとクラッチが切れない事があります。  
それぞれのワイヤーの間に調節ネジがありますのでナットを弛めて調節して下さい。



ベルトを張った状態でベルト丸受棒とベルトとのスキマは3~4mmある様にして下さい。



## エンジン——ロータリー

エンジンとロータリー軸間のベルト調節は、軸間のベルト調節は、ワイヤー調節でカバー出来なくなった場合は、7頁の下図のヒッチ取付の3カ所ボルトをゆるめて、エンジンとベルトカバー裏板のボルトをゆるめて、ロータリー本体を前に移動させる事ができます。

内側が長穴になっており、ロータリー部を前方に移動後は確実にボルトを締付けて下さい。

ベルトカバー裏板ボルトも忘れずに。

### 4-2)刈高さ調節

刈高さ調節は、調節ハンドルを右に廻すと低く、左に廻すと高くなります。地表0~7cm、作業により高刈りの場合は前輪フォークのセット位置を変更左右入替えにより10~17cmに調節が出来ます。

注：低刈時に土を削らない様に。刃の切味を悪くし、ホコリを立ててエンジンにも悪影響をあたえます。



高刈時



標準時

#### 4-3) 車輪巾と前輪フォーク

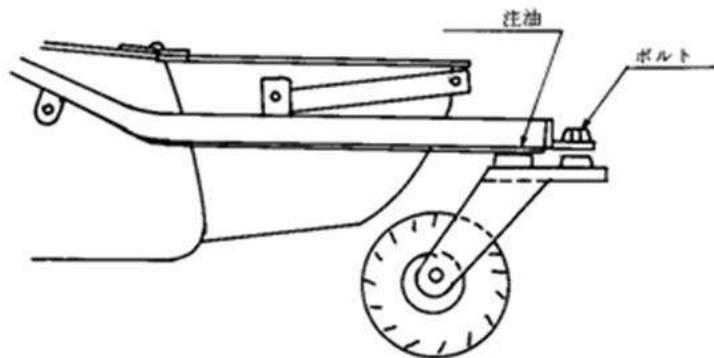
車輪巾はピン1本で自由に変えられます。特に急傾斜地の作業時はダブルタイヤ(タイヤを追加)して作業して下さい。

前輪フォークは作業に合わせて内外にタイヤ位置を変更出来ます。

刈高さの調節時、安全カバーのステーもピン穴位置を変えて下さい。

#### 4-4) 前輪の調節と注油について

傾斜地で作業される場合は前輪を固定して下さい。前輪フォークの上にボルト(M10φ×20ℓ)でセットします。前輪フォークの軸部には適時注油をして下さい。



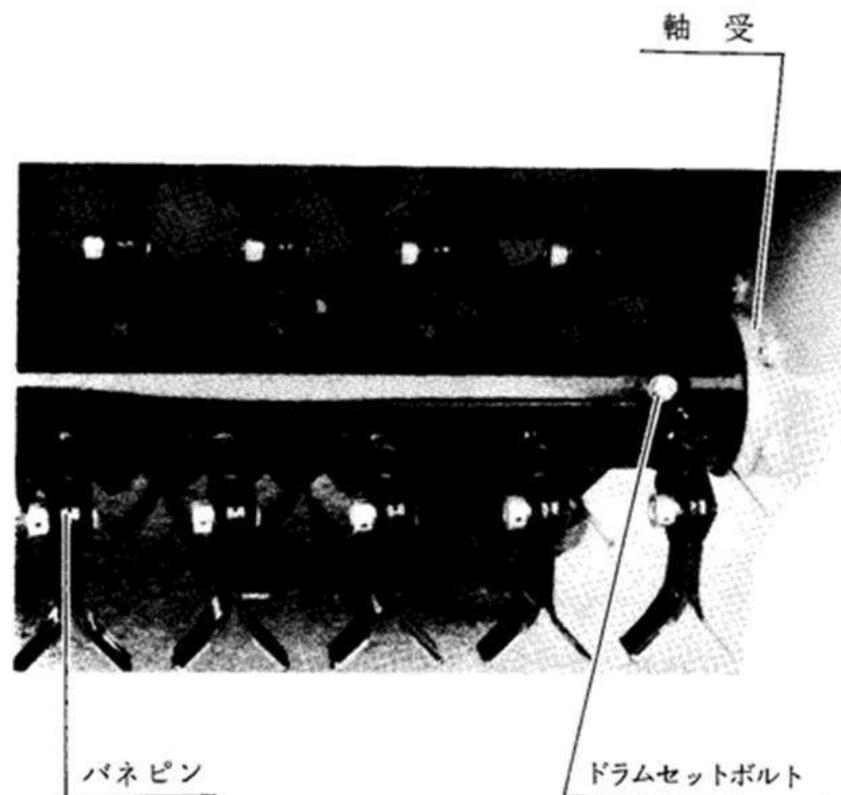
#### 4-5) ドラムと刃の交換要領

ハンマーローターの刃は特殊鋼を熱処理し厳選してありますが、消耗品です。刃が切れなくなったらドラムのセットボルト(左右)をゆるめ、右側の軸受のボルトをゆるめ、ドラムを左右入替えて下さい。刃の両面が切れなくなった場合は、取付部のピンを抜いて刃を研磨して下さい。

注：ドラムのセットボルトは確実に取付け必ずロックナットも締めて下さい。

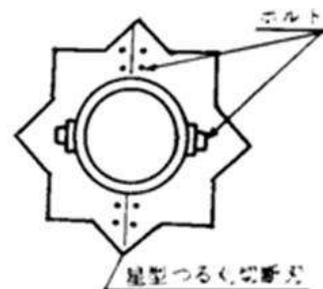
高速回転ですから、刃が折損したり紛失しますとバランスが崩れて重大な故障の発生となります。作業中に機体に振動や横振れを感じたら、直ちにドラムローターの刃の有無及び各部ネジのゆるみ等の点検をして下さい。

刃が無くなっている場合は、必ず補修してからご使用下さい。



#### 4-6) つる切刃の使用

雑草退治・草刈作業でつる草の多い所には、つる切刃(オプション部品)があります。セット方法は下図の如くセットしますと、つる草の様な長い物も巻付かずに楽に作業ができます。



## 5. 作業上の注意

燃料の補給は、エンジンを停止させてから行って下さい。エンジンが加熱している場合は、停止後少し休ませてから補給をして下さい。

作業中万一刃が折れますと機体に振動を感じますので、直ちに停止させ、ローター部を調べて下さい。

草刈作業に入る場合は、左側クラッチレバーを先に入れ、ハンマーを回転させてから走行クラッチレバーを入れるようにして下さい。

作業中にドラムの回転数が下がりますと、草が巻き付きます。エンジン回転が急激に下がった時は、右側のクラッチレバーを切って、ドラムのみ回転させてローター部の草のはき出しをして下さい。

作業中はローターは高速回転ですから、石などありますと飛びますので、前方には人を近づけない様に注意願います。又、前カバーは開閉式となっておりますので、人家の近くや果樹園等では、カバーを

下げて使用して下さい。

急坂道や自動車等への積み降ろし途中でサイドクラッチの操作は行わないで下さい。急坂等でサイドクラッチの操作を行いますと、逆作用が働くこととなりますので、特に注意して下さい。

## 6. 安全作業のための心得

- (1) 過労、病気、薬物の影響、その他の理由で正常な運転ができないと思われる場合は機械作業に従事しないで下さい。
- (2) 適正な帽子や作業衣を使用し、衣服の一部や頭髮、手拭等が巻き込まれない様にして下さい。
- (3) 作業前には常に正常な機能が発揮できるように各部の点検整備に心掛けて下さい。また、作業後にも次の作業のために点検整備を実施して下さい。
- (4) 機械の点検調整や草の巻付を除去する作業は、必ずエンジンを止めてから行って下さい。
- (5) 作業機の着脱はできるだけ平坦な場所で行なって下さい。
- (6) エンジンを始動させる場合は、必ずクラッチを切ってから行って下さい。
- (7) 燃料を給油する場合は、エンジンを停止し、火気は厳禁のこと。特にくわえタバコでの給油は絶

対にやめて下さい。

- (8) 作業中は作業関係者以外の者を機械に近寄らせないで下さい。特に子供には注意が必要です。
- (9) 作業中は機械の周囲に注意し、安全を確認して下さい。特にバック作業時には足元の注意が必要です。また、バック発進時にはハンドルが取られやすいので、静かに発進して下さい。
- (10) ハウス内の作業や屋内での点検整備では、排気ガスがたまり易いので換気には十分な配慮が必要です。
- (11) エンジンのマフラーは非常に高温になりますので、絶対に触れないで下さい。また、機械におおいをかける場合はマフラー等の高温部が完全に冷却した後で行って下さい。
- (12) 定置作業の場合等にベルトカバーをはずして作業機をセットする時は周囲に柵等を設け、手等がまちがって触れる恐れがないようにして下さい。